

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	ばんそうS&S あわっ子らんど			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 24日 ~ 令和7年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 24日 ~ 令和7年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月ごとに活動テーマを決め、週ごとに活動プログラムを作成し、支援内容が偏らないよう工夫している。	一日のリズムが分かるように固定のプログラムとその月の活動テーマに沿った活動プログラムを織り交ぜ、メリハリをつけている。	五感を意識したプログラム構成をしており、活動の中で効果的に刺激を受けられるようにしていきたい。
2	医療的ケア児センターはじめ、関係機関と連携を図り、本人を中心とした支援の輪を広げている。	他施設を併用利用している子どもには保護者や関係施設から情報を得て、職員間で共有している。	今後、地域の保育機関へ移行に向けた支援を行っていく上で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきたい。
3	保護者ニーズ(利用日や送迎時間の変更など)に小まめに対応していくかと努力している。	生活上で起こりうる保護者の困り感に対応し、支援していくたい。	看護師の増員など職員体制をより充実させて事業所の利便性を高めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同性介護ができない。	同性介護を原則としているが、男性職員がいないため行えていない。	有償のボランティアを募集する等継続した求人活動を行っていく。
2	地域との関係性が薄い。	防災・防犯の観点も踏まえ、地域住民や関係機関との関係性を深めたいと考えているが接点が少ない。	外出時の公共施設(地域の図書館、福祉会館等)の利用や開催する行事などで工夫を凝らし、開かれた事業運営を図りたい。
3	外部研修や出張への参加調整が困難である。	事業所の規模が小さいため、不在時の代替専門職員の確保が難しい。現状は法人内の他事業所から派遣してもらい対応している。	引き続き法人内の他事業所への協力要請や求人活動を継続していく。